

友の会通信

2010
Vol.
22

～ 群馬県立自然史博物館友の会 ～



— 博物館視察研修会 —



～ アクアワールド茨城県大洗水族館・水戸天狗納豆本家～

平成21年11月1日(日)

総勢29名、大型バスのため座席に余裕があり、快適な旅となりました。また、好天にも恵まれ、車窓から見る北関東は秋真っ盛りでした。

バスは順調に走り、予定より早く水族館に到着。館に入りますと目につくのは円筒形の水槽の中で口を開け、同じ方向に泳ぐマイワシの群れでした。中央の巨大水槽ではサメやエイが悠々と泳ぎ、中央部ではイワシが集団でダイナミックに形を変え、見るものを圧倒する動きをしていました。マンボウは、魚の進化から取り残されたような愛嬌のある姿で泳いでいましたが、海で生き残れるか心配になりました。

大型水槽ばかりでなく、各種魚の生態をじっくり観察できるコーナーもあり、サメの水槽では、その種類の多様さに驚かされました。サメ以外でも軟体動物、甲殻類などを見て、進化の不思議、海の豊かさを感じさせられました。イルカショーも見事で、イルカの身体能力や知能の高さに驚きました。

帰りには、水戸天狗納豆本家に寄り、納豆の歴史や伝統的な製法を聞きながら先人の苦労や最初に納豆を食べた人の勇気(?)に感心しました。
(21-179 堀越武男)



参加者の声 sankasha no koe

★ 無理のないスケジュールで、子どもと一緒に参加しやすかったです。子どもは、とても楽しかったようで、目を輝かせながら展示物に見入っていました。
(21-041 三川直樹)

☀️ 水族館ではウミガメの泳ぐ姿、納豆博物館では納豆の歴史を見ることができてよかったです。また、天気がよく、時間通りに帰ってくる事ができた点もよかったです。
(21-069 二瓶良介)

🐬 水族館では、アシカの展示がおもしろかったです。耳の特徴や声の大きさ、犬みたいな顔を間近に見ることができてよかったです。
(21-070 二瓶和子)

🐧 水族館は好きでしたし、ペンギンの泳ぐ姿を見ることができてとてもよかったです。
(21-071 二瓶正之)

🐟 水族館でイワシの大群に見とれてしまいました。それだけで、この視察研修の目的を達成したと思います。
(21-055 徳江 紀)

🦋 個人的には、久々の水族館だったので楽しかったです。
(21-058 岡野美由紀)

🌊 水族館も楽しかったけど、海を見ることができてとてもよかったです。
(21-059 岡野太郎)

☀️ 水族館では、マンボウの泳ぐ姿を見ることができてよかったです。一方、納豆博物館で、納豆を作る工程を見学することができなくて残念でした。
(21-046 宮澤和弘)

★ 水族館では、イルカとアシカのショーを見ることができてよかったです。行き帰りの景色もよかったです。
(21-047 宮澤拓末)

☀️ 朝から天気がよく、視察研修には大変適した日となりました。アクアワールド茨城県大洗水族館のイルカショーは最高でした。毎年、いろいろな所の視察ができるので楽しみです。
(21-170 下 幸夫)

🦋 水族館ではマッコウクジラの骨格を見て、感動しました。また、納豆博物館にも寄ることができてよかったです。
(21-096 佐藤春利)

🌊 3時間程度で行けて、観光、学習ともに満足することができました。大型バスだったので、座席に余裕があってよかったです。
(21-018 塚越やよい)

🐬 大洗にあれほど素晴らしい水族館があったのには驚きました。次回の視察研修にも参加したいと思います。
(ボランティア 横田 昇)

🚗 交通の便がよくなったので、時間的には余裕があってよかったです。来年度は、自然環境やECOについて学べる施設などを見学してみたいです。
(ボランティア 茂木清美)

地層観察会

～地質名所めぐりin下仁田～

平成21年12月5日(土)

今年度2回目の体験活動である「地層観察会」は、地質遺産の宝庫といわれる下仁田町で、友の会運営委員の堀越武男・角田寛子両先生を講師に迎え開催されました。

観察会は、集合場所である青岩公園の青岩観察から始まりました。この岩石は変成岩の一種である結晶片岩であること、「根なし山」の土台となっていることなどの解説がなされました。

次いで、場所を八千代橋下流の西牧川の河床に移し、西南日本を縦断する大断層(中央構造線)の続きとされる断層の露頭を見学しました。

最後に、八千代橋上流の下仁田層と呼ばれている、今からおよそ2千万年前に海底に堆積したとされている地層から化石を採集しました。硬い泥岩を割るのに苦心しましたが、参加者全員、化石採集の体験ができたようでした。

時間的な制約もありましたが、下仁田のもつ豊かな地質資源の一部に触れることができた素晴らしい観察会でした。

(21-172 森平利政)



参加者の声

sankasha no koe



★ 講師の先生方の説明がわかりやすく、とても勉強になりました。下仁田は、地質の宝庫であり、県外からも研究者がきているので、観察地としても適していると思いました。

(21-159 黒澤弘子)

☀ 群馬県内にあのような場所があることを初めて知りました。もう少し化石を採集したかったです。

(21-189 石田忠義)

🌿 紅葉の時期を過ぎ、木々が落葉していたので地形を観察しやすかったです。貝の化石を採集できて楽しかったです。

(21-028 児玉悦子)

🌀 このような場所でも化石があるのかと思いました。十分楽しめたのですが、ゴミが捨てられている様子、生活排水が流れ込んでいる様子などを見て、環境問題について考えさせられました。

(21-046 宮澤和弘)

🍷 下仁田層やいろいろな地層を見ることができてよかったです。化石の採集もとても楽しかったです。

(21-048 宮澤拓末)

☀ 岩石、化石ともに標本を持ち帰ることができて、子どもたちも満足していました。毎年違う場所での地層観察会をとっても楽しみにしています。

(21-020 倉金秀行)

🍷 子どもたちと一緒に参加することができて、とても楽しかったです。日程、時期ともにちょうどよかったです。

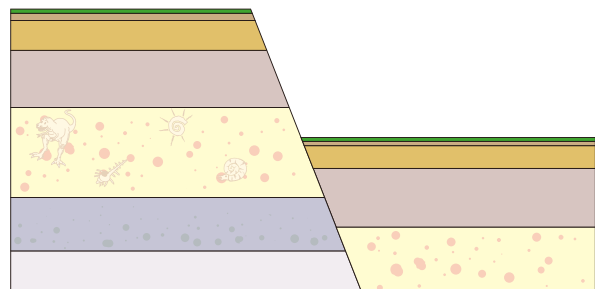
(21-021 倉金由起子)

☀ 天気にも恵まれ、とても楽しい観察会でした。

(21-023 倉金正幸)

🌿 河原では、いろいろな石を見ることができてよかったです。話もたくさん聞いて勉強になりました。

(21-024 倉金遙子)



友の会会員からのおたより



～私が見つけた自然～ 『キジ』

その1

期日：平成21年9月4日
場所：富岡市黒川 自宅前の空き地

キジを見かけることは多いのですが、これは自宅前の空き地で見かけた3羽中の2羽です。歩き方ですぐにキジと分かりました。しかし、そのときは夢中で、雌ばかりであったことに気づきませんでした。図鑑を見ると、繁殖期(4～7月頃)以外は同姓で群れを作るとあり納得しました。

(21-055 徳江 紀)



～私が見つけた自然～ 『狂い咲きのレンギョウ』

その2

期日：平成21年11月5日 場所：軽井沢雲場池

紅葉を楽しもうと行った雲場池で、なにやら咲いているものがあり、近寄ってみるとレンギョウでした。近頃は狂い咲きも珍しくありませんが、それでもこの季節に黄色の花は目立ちました。春にはびっしりと花をつけますが、それに比べるとやはりちらほらでした。



～私が見つけた自然～ 『ヤツデの花』

期日：平成21年11月22日 場所：高崎市自宅の庭

今の季節、戸外で咲いている花はあまり多くありません。私の家ではサザンカが咲いていますが、よく見るとヤツデもひっそりと白い花をつけていました。小さな一つ一つが花で、その先から雌しべが見えます(雄しべと花びらが散った後の雌性期)。本で調べると、ヤツデはウコギ科の低木。花には、花弁、雄しべ、雌しべが各5つある。果実は球形で、翌年5月頃黒く熟すとありました。

(21-018 塚越やよい)

..... 「私が見つけた自然」募集中

会員の皆様へ 「私が見つけた自然」に応募してみませんか。

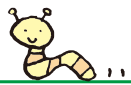
自分の身の周りで、かわいらしい自然を見つけたとき、珍しい自然と出会ったとき、美しい自然を目にしたとき、その瞬間をカメラで記録し、その写真(またはデジタル写真)とその時のエピソードを添えて自然史博物館へ封書またはメールでお送りください。友の会通信で紹介させていただきます。応募をお待ちしております。

■送り先 〒370-2345 富岡市上黒岩 1674-1 (メールで送る場合)
群馬県立自然史博物館 友の会 E-mail: hukyu@gmnh.pref.gunma.jp
「私が見つけた自然」 係

イベント紹介



第35回企画展



「むし虫 ウォッチング」

会期：2010年 3月13日(土)～5月5日(水)

場所：自然史博物館企画展示室

昆虫は動物の中で最も種類数が多く、様々な形態と生活をしています。身近に見られても意外に知られていない昆虫の生活史、隠れたり目立ったりする擬態、分布を広げる昆虫など、多様な昆虫の世界を標本やグラフィックを通して紹介します。

第36回企画展



「かせき」

会期：2010年 7月17日(土)～11月21日(日)

場所：自然史博物館企画展示室

様々な実物化石やレプリカ、関連する比較標本を展示して、それらの化石が物語る生物の進化や地球環境とのつながりなどを紹介します。また、近年国内外で得られている化石に関する最新の研究成果の一端や様々な古生物の復元などについても展示します。

8月までの主なイベント

5 May

- ・友の会総会
- ・友の会講演会
(講師として長谷川善和館長を迎え、化石に関する話を予定しています。)



『友の会』更新手続きと新規入会手続きを

年会費	① 一般会員	3,000円
	② 高校生・大学生会員	2,000円
	③ 小学生・中学生会員	1,000円
	④ 家族会員	5,000円
	⑤ 賛助会員	10,000円

入会特典	① 博物館入館無料
	② 博物館からの情報配布
	③ 友の会行事等への参加
	④ ミュージアムショップの割引

★現会員の方は引き続き入会をお願いします。さらに、お知り合いの方に新規入会をお薦めいただければ幸いです。

NEW 出版物の紹介

「ぐんまの自然
ハンドブック No.1」

一般 200円 会員 180円

「昆虫をかんざつしよう」

一般・会員 50円

ミュージアムショップにて販売をいたします。

博物館利用案内

- 開館時間 午前9時30分～午後5時
(ただし入館は午後4時半まで)
- 休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)・年末年始
- 観覧料 一般 500円 高校・大学生 300円
中学生以下 無料
企画展開催中は特別料金
※身体障害者手帳・療育手帳・
または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

編集後記 2010年最初の友の会通信をお届けします。言うまでもなく友の会通信は博物館と会員の皆様をつなぐ架け橋です。できるだけ一方通行にならないよう、編集委員一同努力をしていますが、会員の皆様からの情報やご意見が多ければ多いほど、橋がにぎわうと思います。自然に関することで「オヤ！」と思うようなことを見たり聞いたりした時、あるいは友の会に要望したいことなどがある時、遠慮せずに友の会宛にご一報いただければ幸いです。
(友の会編集委員 角田寛子)